

はや新聞

3ヶ月



4月に入学して早3ヶ月、いろいろあったり、なかったり。思い返してみると、やはりいろいろあったわけで・・・。

4月・入学式



4月1日、場所は名古屋・栄のガーデンパレス。会場に入ると正面には、知らないお坊さんの絵が飾ってあった。あたりに響き渡るのは、女子十二楽坊と同じ大学らしい留学生が奏でる琵琶っぽい楽器。どうやらこの学校は仏教系らしい。その考えは、しばらくすると確信に変わった。列席者全員による経の大合唱。正直、この先の学校生活が不安になったのはいうまでもない。ちなみにもこの時点で自分は24歳、いわゆる人生遠回り組である。まわりはおそらく18歳、「友達できるかな。」などという心配もしたりしていた。

その思いとは裏腹に、青年H(当時24歳)がブラックスーツに黒シャツでしかめ面という、かなりの威圧感を放っていたというのは事実。

4月・実力テスト



これに関しては「ごめんなさい。」の一言、まったくもってできなかったという意見が大半。自分の勉強のできなさに失望。心が折られ、「学校辞めようかな。」と入学早々思ったりもしたという意見も。後日の面談で点数を通知する話だったが、少年H(当時24歳)には結果があまりにも酷かったため通知されていないらしい。この話が本当かは定かではない。

5月・新入生歓迎会



少年H(当時18歳)が起こした事件により会場は騒然。後日、少年Hは謝罪。大事にはいたらなかった。あの事件から2ヶ月、少年Hは平穏な毎日を過ごしている。

5月・仏教研修 静岡 浜名湖

早くも1年で最大のイベントといわれる仏教研修が1泊2日で行われた。座禅・写経・説教など、貴重な体験をすることができた。夜はオリエンテーションが行われ、中途半端な盛り上がりを見せて無事に幕を下ろした。

2日目に行われたバレーボール大会では、青年H(当時25歳)の打った今日一番の弾丸サーブが一般の方に直撃し膝から崩れ落ちるといふ事件が発生。加害者の話によると、「サーブを打った直後、当たるとわかりました。」と話している。目撃者の話によると、「事件が発生した瞬間は、世界がスローでした。」と語っている。その後すぐに青年Hは謝罪。大きな事件には発展しなかった。

6月・テストラッシュ



連日のテストで、生徒たちの脳が悲鳴を上げている。1年生のH君(25)は、「テストに関してはノーコメントで、ごめんなさい」としか言えないです」と語っている。



がんばります!